

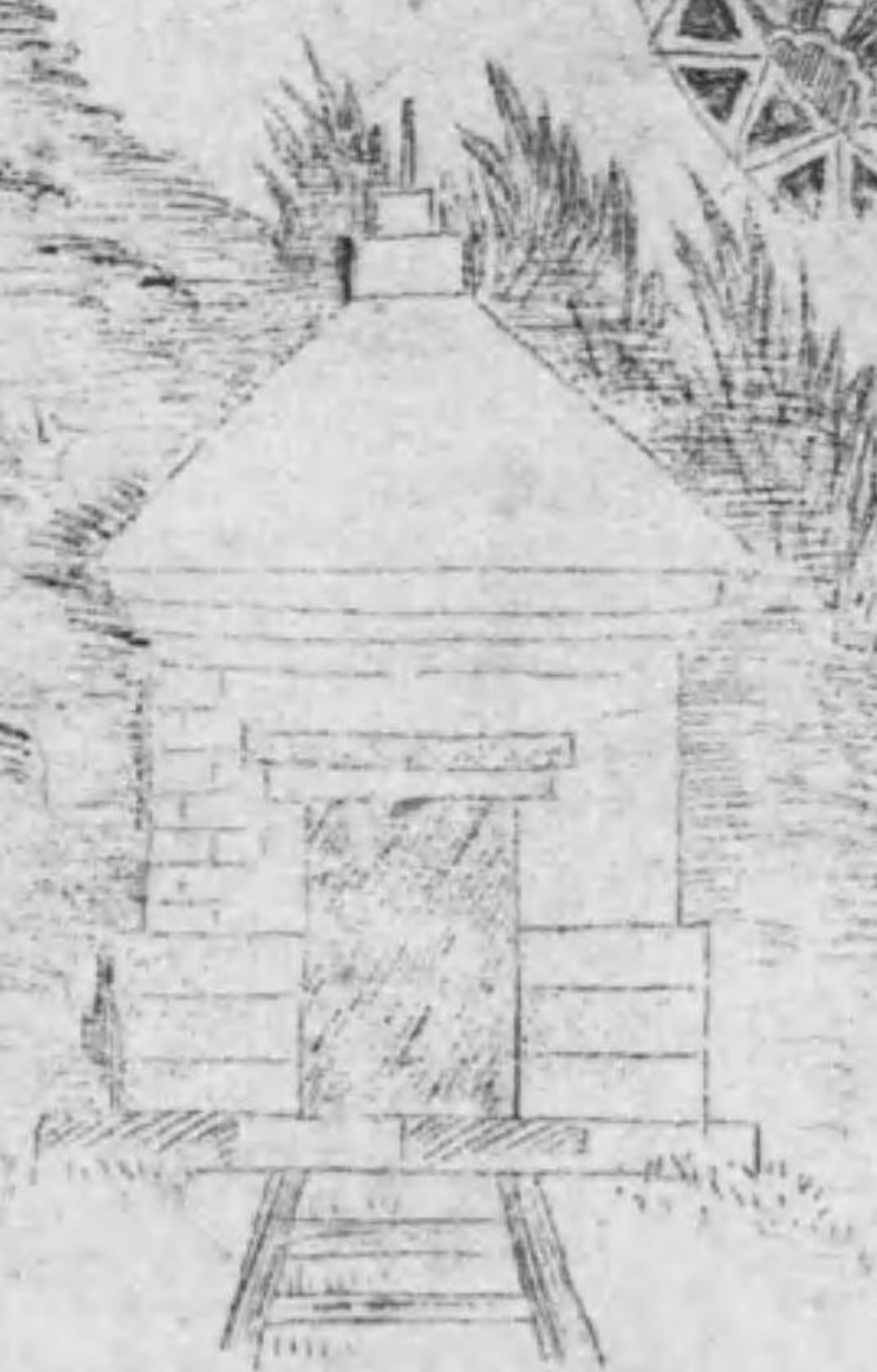
特115

854

報時内保蘭校五記 號十五第



唐律
五年九月新築
額五百五十圓也
内七割
田代準一郎氏寄附



あゝの家を分るに月介が
お路をふるして申さるゝ
あゝの或はあゝ
未つゝ
花の都
いづれに
そのおは
或はあゝの
おゝをい
り未は
やゝを
事あり
やゝの
あゝ

国立国会
51.10.1
図書館



始



令子後布シニ三年教育勸諭ヲ賜リ三十二年小學校令ヲ改正セシ三十二年小學校教科書ヲ制定シ四年
 義務教育ヲ延長シ四十二年甲詔書喚発セシ四十四年普通教育振興ノ旨スル御ノ大書ヲ賜ヘリ大正三年
 ニ國民精神作興ノ大詔ヲ下シマシメニ等ハ教育施設後不斷ノ努力ト向上途ヲ指示セリマセカ、而シテ教育費
 内ノ事々々容易コトナリマセン、年々ト夫ニ向上途展止セザル教育上施設ノ教育費増加、所村教育費負擔ノ負担
 益々重クシメ之レカ多ク其、經營難ク成ルニ至ルモノナリマシ、然レトモ教育ノ國民ノ義務ヲ以テ國
 家隆昌ノ基礎ヲアリマス、之レヲ一國ノ一見ニモ教育價値重大トシテ、餘力ヲ盡シテ、全地ヲ所カス
 國民引強進進國ノ朝野ノ輿論ハ眞ニ國家國民ノ幸福ノ存存條件トシテ、各動力カヲ教育ニ盡コトイフ事デス、彼ノ
 國民、信々國家隆昌ヲ促スニ總テノ施設ヲ當テ教育上ニ立テ白クシ、之レヲ最モ聽取テ最モ深刻ナモシ、人
 トイフ事デス、彼ノ國テ教育ノ事業ト他國ニ業ト異リ、其ノ一ニテ、教育ノ一ツ、施設ノ原動力カ教育費ニ
 テ其ノ上ニ建設シヨウトスルハアリマス、是ニシテ國家ノ強盛ハ教育ノ進歩ニ依リ、教育ノ進歩ハ教育費ノ
 親ク聽取ヲ欠ク人ニ依リテ教育ノ施設ヲ期スルニ、教育費ノ充テラセザルニ、教育ノ進歩ハ教育費ノ充テラセザルニ、
 ハモシカリマス、五十年年一逢週ニ更ニ教育費ノ充テラセザルニ、教育費ノ充テラセザルニ、教育費ノ充テラセザルニ、
 實ニ教育第一ヲ絶叫セザルを得ナイ事ナリマス。

十月の暦

- 十月十三日 生保内小宮、創立記念日 (明治七年十月十三日)
- 十月十三日 甲詔書喚發記念日 (明治四十二年十月十三日)
- 十月十七日 神嘗祭
- 十月三十日 教育勸諭ヲ賜フ (明治三十二年十月三十日)
- 十月三十日 天長節祝日 (天長節八月三十一日)
- 十月三十一日 十月、奥名全國神々出雲大社、會議、兩參列ニテラレル、諸國神々、御留守、
月トト該取スルテハ出雲ハ大神有月カデモトヘリ、雷無月ノ意味トノ事。



石川誠禪

示被五十年、
 記念事業、
 奨學會
 の決議
 謹す

全村戸主各位の奮起を切望す

經制頒布セラレテ全國ノ教育制度カ統一セラレタ、邑に不愈テのたなく、家に不學ノ人、
 からいメントセラレタ、ケ塩焼シ、蠶ノ濱村カラ、木樵ハ、松ノ山、マテ、學子、衣ノ設備カ整テ、
 聲ガ全國一齊ニ上リタ、
 我ク生保内ニ在リ、
明治七年十月十三日 東原寺後ノ一室ヲ **駒陽學校** カ創設セラレ
 桃栗、柿、...ノ畢、然、園カラ、地割ハ、六尺四方ヲ一坪トイヒ、...、連、然、園ヲ、讀ミ、出、シ、テ、ヨリ
 幾、變、遷、再、未、枯、其、再、今日マテ、榮、達、向、上、途、程、ヲ、出、シ、テ、敷、ク、ハ、五、十、年、ヲ、經、テ、顧、ミ、シ、ミ、
 盛、事、ヲ、被、賜、シ、タ、リ、ト、イ、ハ、記念、ヒ、ス、ニ、思、サ、レ、ナ、イ、
 コ、ト、叶、ニ、際、教育、的、十、記念、事業、ヲ、計、画、ス、ル、所、ナ、ク、テ、ハ、ナ、ラ、ナ、イ、時、報、子、ハ、コ、ニ、決、テ

奨學會

發起ヲ提議スルモノナル。我村施設ノ大端ヲ通観スルニ其ノ...

スル家主ノ意味ヲ。ト主トイフ制限ハ誠ニ時代ニ逆行スル名ナルカ...



小學校沿革

(一) 校長移動

第一代 小峯朝正 (明治十年十月在任)	第七代 阿久津平助 (明治十五年九月在任)
第二代 小峯朝正 (明治十五年九月在任)	第八代 内海源治 (明治十四年四月在任)
第三代 薄井忠治 (明治十五年四月在任)	第九代 大野重任 (明治十八年二月在任)
第四代 神長保光 (明治十九年五月在任)	第十代 小玉與一郎 (明治二十年四月在任)
第五代 内海時也 (明治二十三年十月在任)	第十一代 佐藤直隆 (明治二十五年五月在任)
第六代 小松倉光 (明治二十五年十月在任)	第十二代 進藤益益 (明治二十六年六月在任)
第七代 古村萬之助 (明治二十九年一月在任)	第十三代 田代封夫 (明治三十四年十月在任)
第八代 石川勇吉 (明治三十八年三月在任)	第十四代 菊池東一 (明治三十九年一月在任)
第九代 阿部茂男 (明治三十九年三月在任)	第十五代 三浦教世治 (明治三十九年三月在任)
第十代 小玉正之助 (明治三十九年三月在任)	第十六代 堀川康記 (明治三十九年七月在任)

(二) 校地 / 變遷

- (一) 東原寺
- (二) 日吉吉定
- (三) 高橋庄左三
- (四) 後湯敷地
- (五) 高橋久八處地
- (六) 德政寺處地
- (七) 武藏野更番

(三) 管理者異動

學長 小室秀俊 (明治七年十月) 進藤益益 (明治九年十月) 戶長 堀川豐三郎 (明治十五年十月) 田口清助 (明治十七年十月) 村長 村田永三郎 (明治二十年三月) 村長 村田永三郎 (明治二十二年五月) 古村重太郎 (明治三十四年)

(四) 分校名錄

第一分校 (明治七年十月) 第五屆 小松陽助 陽助學校 (明治十五年一月) 第三土區 陽助學校 (明治十七年三月) 第三土區 陽助學校 (明治二十五年一月) 生保内簡易小學校 (明治三十五年一月) 生保内尋常高等小學校

第二分校 (明治十七年十月) 第五屆 小松陽助 陽助學校 (明治十五年一月) 第三土區 陽助學校 (明治十七年三月) 第三土區 陽助學校 (明治二十五年一月) 生保内簡易小學校 (明治三十五年一月) 生保内尋常高等小學校

第三分校 (明治十七年十月) 第五屆 小松陽助 陽助學校 (明治十五年一月) 第三土區 陽助學校 (明治十七年三月) 第三土區 陽助學校 (明治二十五年一月) 生保内簡易小學校 (明治三十五年一月) 生保内尋常高等小學校

(五) 分校場設廢

向津保内分校場 (明治八年十月教立) 明治二十四年廢止

瀧分校場 (明治三十五年一月教立) 明治四十年廢止

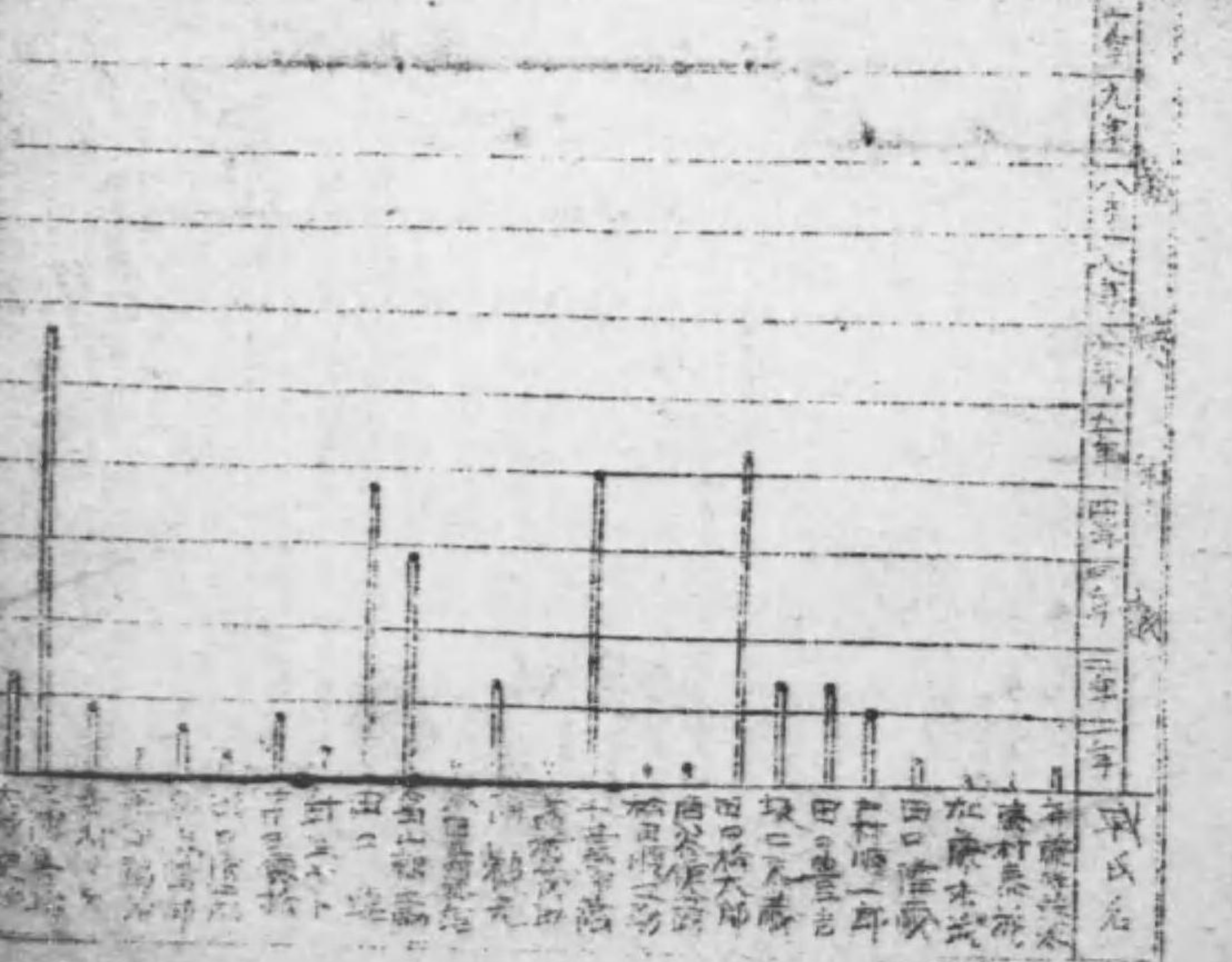
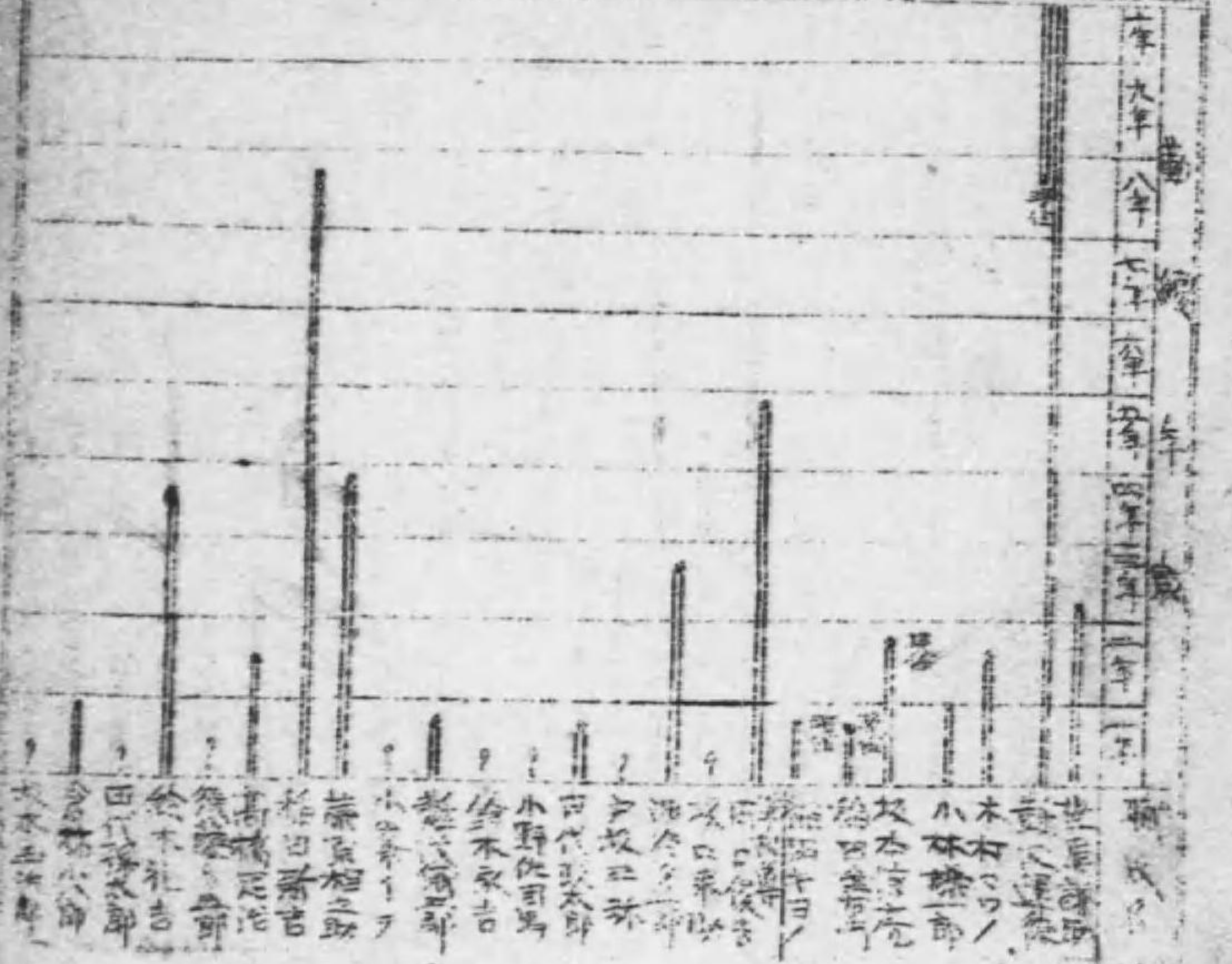
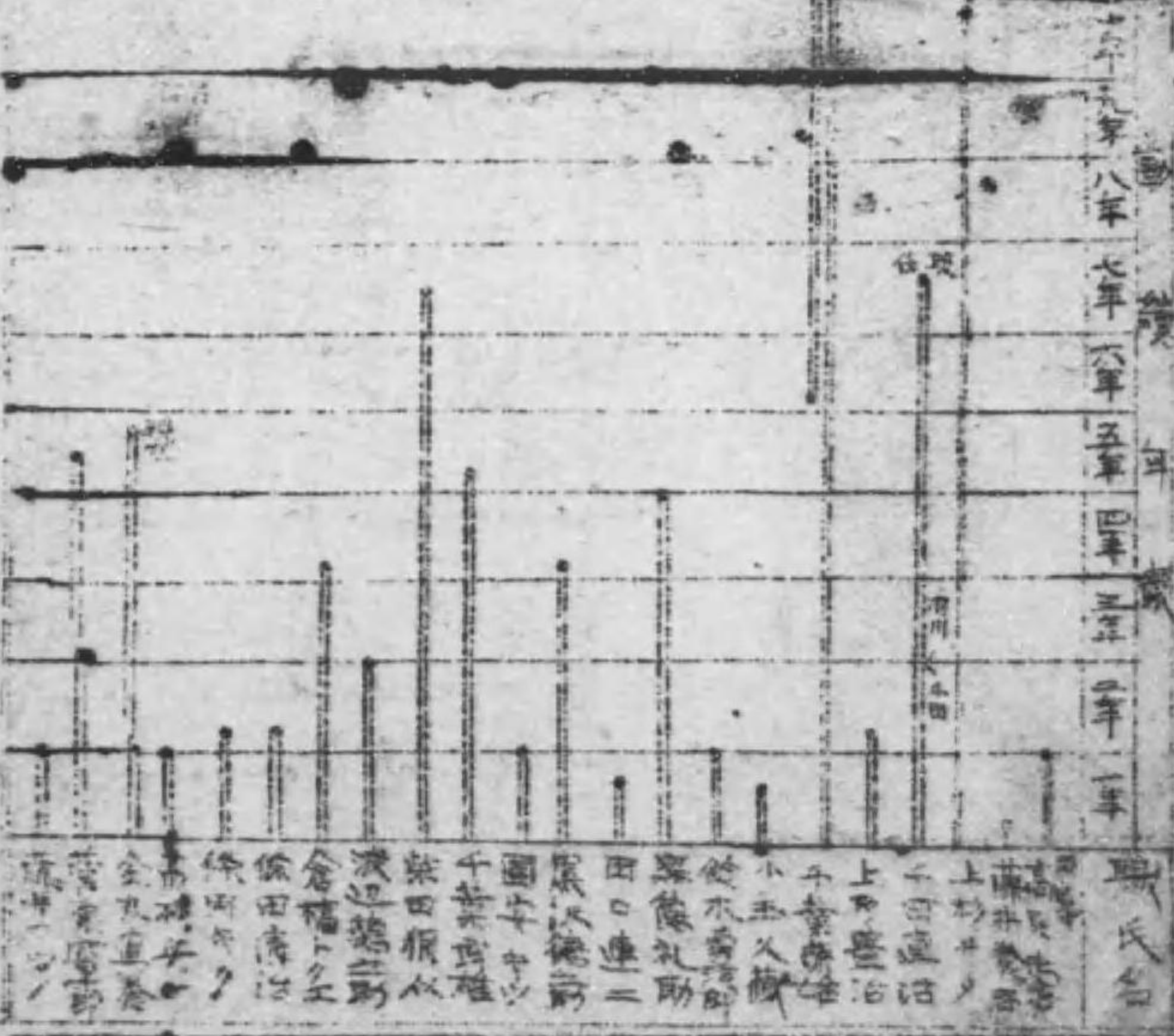
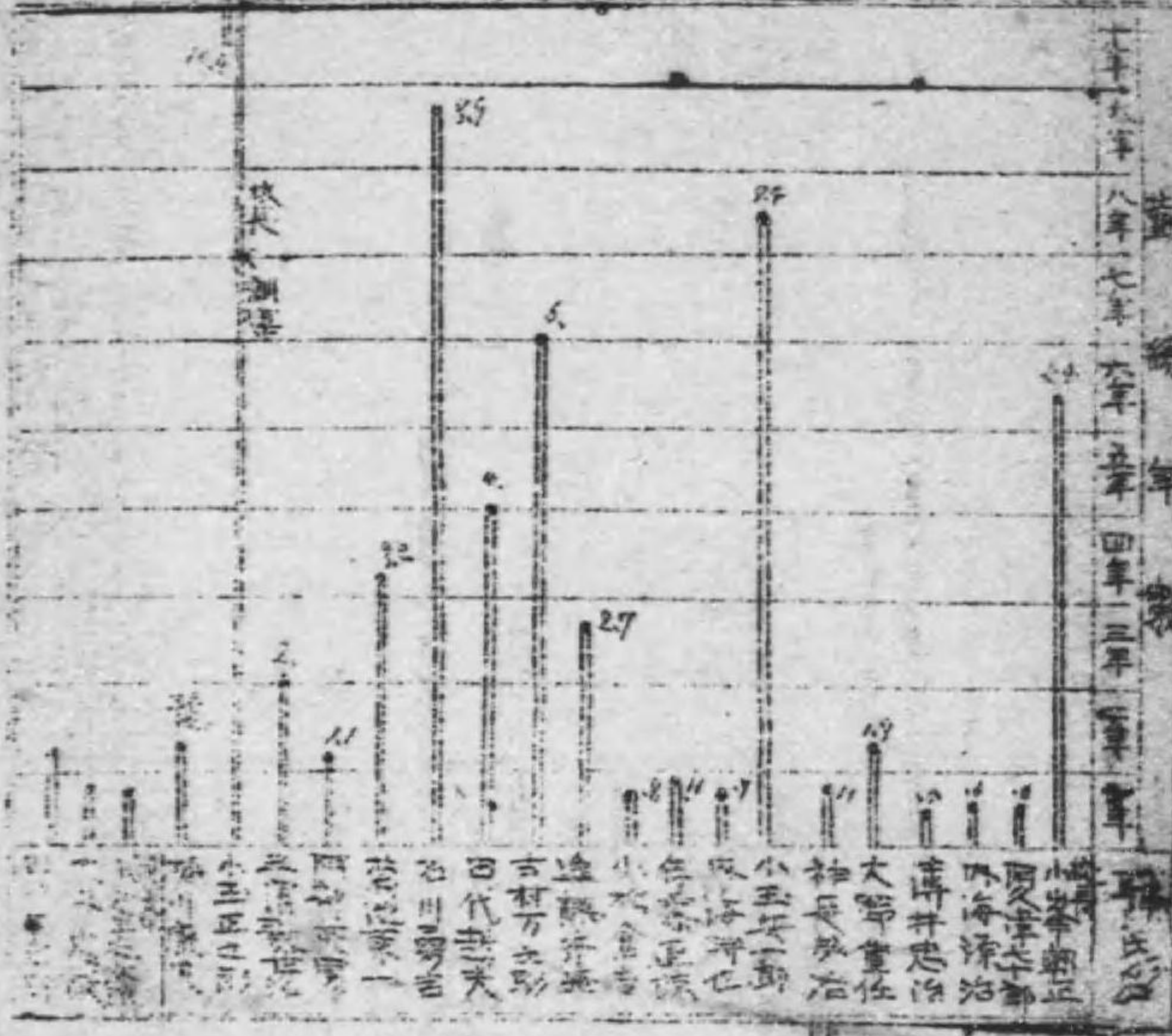
刺卷分校場 (明治三十七年五月教立) 明治四十一年廢止

(六) 其他重要事項

明治天皇御影拜戴 (明治十六年十月二十六日) 今上陛下御影拜戴 (大正五年十月二十七日)

御影拜戴 (今日) 大正五年十一月十八日

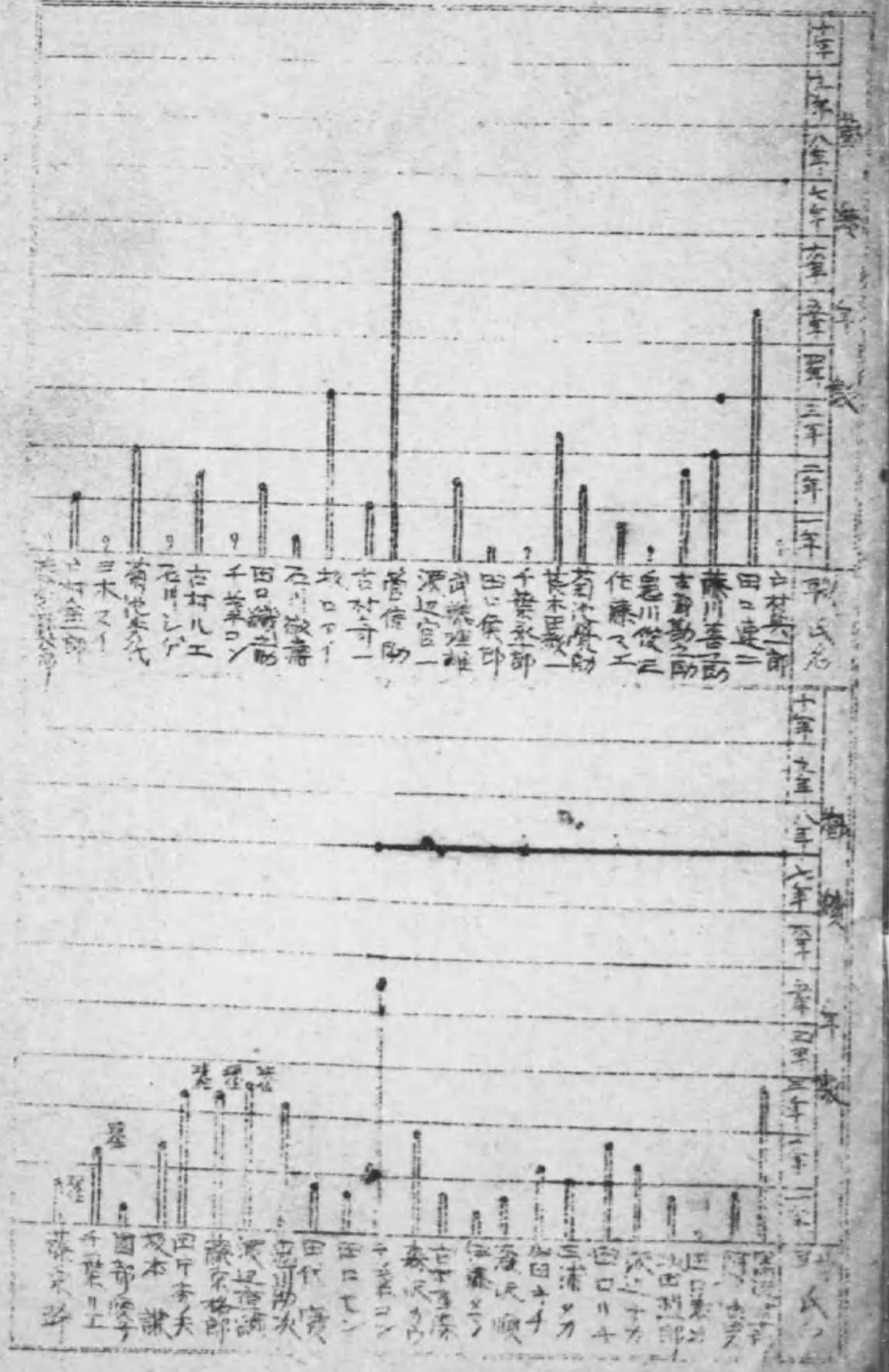
續年數一



明治二十三年	190,516		
二十三年	191,600		
二十四年	178,900		
二十五年	209,770		
二十六年	201,256		
二十七年	244,185		
二十八年	265,445		
二十九年	240,705		
三十年	259,355		
三十一年	430,842		
三十二年	525,129		
三十三年	669,135		
三十四年	782,690		
三十五年	758,125		
三十六年	1,027,050		
三十七年	1,202,015		
三十八年	1,304,760		
三十九年	1,357,515		
四十年	1,211,000		
四十一年	1,450,220		
四十二年	1,730,380		
四十三年	1,820,937		
四十四年	1,886,375		
四十五年	2,183,860		
大正二年	2,275,920		
大正三年	1,423,385		
大正四年	1,756,007		
大正五年	1,798,431		
大正六年	1,921,440		
大正七年	2,911,260		
大正八年	3,852,570		
大正九年	4,922,360	1,020,700	
大正十年		5,767,510	
大正十一年		6,874,270	
大正十二年			9,290,210
大正十三年			
平均			

町制實施
教育費統計
 明治三十八年

町費ト教育費(主トテ小學校費)ノ
 歩合ハ席ニ五割ノ線ヲ出入シテアル
 明治三十二年ハ村費ハ三百七十四万七千八百一十元(重テ
 カルカラ大正十三年度ノ二百六十四万七千八百一十元ニ
 對スル比ヨリモ高ク比率ノ教育費ヲ計
 上シテ居ル事ニナラシ居ル
 大正三年ヨリ急ニ逐年額ガ減メ
 レテ向テ五年ヲ経テ回復タシ大正
 二年ノ歩合ノ影響ガ主トシテ因テ
 ナレテ居ル



十月三十日 教育功勞
 式記念 表彰
 式記念
 癸亥年十月十五日
 式記念

大正十五年十月十七日發行
 總務處 庶務課 庶務課長 堀江 啓

終